

①情報収集



練馬区防災
気象情報

ヤフー
防災速報

最新の気象情報を練馬区防災気象情報
やヤフー防災速報等で確認しましょう。
(上記のQRコードから確認できます)

②避難の判断と準備



浸水被害に備えた土のう・水のうの準備や、風害に備えてシャッター・カーテンを閉めるなどの対策をしましょう。

③近隣への避難の呼びかけ



避難の呼びかけやお年寄り等の避難支援等、近隣での助け合いをしましょう。

④早めの避難



自身と家族の身の安全を十分に確保しながら、家の周りが浸水する前に早めに避難しましょう。



■石神井川沿いの地域

- 石神井川は、短時間の豪雨で急に水位が上がり、氾濫することがあります。
- 川の氾濫より前に、下水道などの水が溢れだして冠水することもあります。

増水時の石神井川（稲荷橋）

家屋倒壊等氾濫想定区域（）の枠内）石神井川が氾濫した場合、水の力で一般的な木造家屋が流出・倒壊する恐れがあります。

水害時の避難所
関町北地区区民館

増水時は無理して橋を渡らない

避難行動要支援者の支援を

水位警報塔（稲荷橋）

警報が聞こえたら川に近づかない。

水位が氾濫まで1.0mに達した場合
音声「水が増えております」

水位が氾濫まで0.5mに達した場合
音声「溢れる恐れがあります」

水害時の避難所
関区民センター

《地域の皆さんからの声》

- 低いところに住んでいる人は、早めに避難所や高台に避難する必要があります
- 水害時の避難所や避難経路の確認のため、実際に歩いてみよう

■川から離れた地域

川から離れた場所でも、降った雨が排水しきれずに、排水溝や下水道から水があふれだして冠水する可能性があります。

マイ・タイムラインを作って、早めに避難を！
避難が遅れたら、安全な建物の2、3階へ！

凡例

もしものときの避難する場所等

- 避難所
- ※降雨状況や地域の危険性に応じて避難所を開設します。避難の際は、必ず避難所の開設状況を区ホームページ等でご確認ください。
- 避難所（危険がさらに高まった場合）
- ※河川の氾濫・浸水深の危険性がさらに高まった場合は、 の避難所の他にも区立小中学校を避難所として開設することがあります。

災害時に役立つ資源

- 防災会防災資器材格納庫
- 消防分団格納庫
- 市民消防隊防災資器材格納庫
- AED

準備・避難時に必要な情報

- 水位警報塔
- 防災行政無線
- 土のう置き場
- 水がたまりやすい箇所

各種施設、資源等

- 消防出張所
- 交番
- 区民事務所、保健所等
- 保育園
- 幼稚園
- 福祉施設等
- 公衆電話
- コンビニエンスストア
- 公園・児童遊園等

浸水深の目安

- 5.0m 2階の軒下以上が浸水する
- 3.0m 2階の軒下まで浸水する
- 2.0m 2階の床まで浸水する
- 1.0m 1階の軒下まで浸水する
- 0.5m 床上浸水（大人の腰までつかる）
- 0.1m 床下浸水（大人の膝までつかる）

※この浸水深は、想定し得る最大の降雨（時間最大153mm、総雨量690mm）のときのものです。測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 1JHs 1272